



市による警察署誘致に向けた陳情の歴史



年	項目	歴代市長
昭和63年12月26日	鈴木礼治県知事・県警察本部長・県議会などへ最初の陳情	鷹羽 操 (昭和55年4月13日～平成4年4月12日)
平成4年～	神田真秋県知事・県警察本部長・県議会などへ陳情	福島 努 (平成4年4月13日～平成16年4月12日)
平成14年9月	市内4団体※が「警察署誘致実行委員会」を結成し、市民に対して署名運動を展開。約4万7000人の署名が集まる。 ※構成団体:市市長会、市老人クラブ連合会、市地域婦人団体連絡協議会、交通安全協会東海大府支部大府分会	
平成15年8月26日	警察署誘致実行委員会が、「警察署誘致を求める請願書」を市議会へ提出	
平成15年9月22日	9月市議会で請願書を採択し、「大府市・東浦町に警察署誘致を求める意見書」を可決	
平成16年～	神田真秋県知事・大村秀章県知事・県警察本部長・県議会などへ陳情	久野 孝保 (平成16年4月13日～平成28年4月12日)
平成19年11月21日	警察署誘致実行委員会が、「警察署の誘致を求める陳情書」を市へ提出	
平成19年11月22日	警察署誘致実行委員会が、「大府市・東浦町に警察署誘致を求める意見書」の提出に関する請願書を市議会へ提出	
平成19年12月21日	12月市議会で請願を採択し、「大府市・東浦町に警察署誘致を求める意見書」を可決	
平成27年3月23日	3月市議会で、「大府市・東浦町を管轄する警察署の新設を求める意見書」を可決	
平成29年～	大村秀章県知事・県警察本部長・県議会などへ陳情	岡村 秀人 (平成28年4月13日～現在)
令和4年8月29日	大村秀章県知事が記者会見で、「大府市内への警察署の新設に向けた検討を開始する」と表明	
令和4年8月30日	新警察署の候補地として月見町二丁目の土地を県に提案	
令和4年9月6日	県が9月県議会に提案する新警察署の候補地の調査を行うための補正予算案を発表	



▲警察署誘致実行委員会が請願書を市議会に提出(平成15年8月26日)



▲久野前市長らによる副知事室での陳情(平成23年11月21日)



▲久野前市長らによる大村県知事への陳情(平成24年11月16日)



▲岡村市長らによる大村県知事への陳情(平成29年1月27日)



▲岡村市長らによる東海警察署長への陳情(令和3年1月14日)



▲岡村市長らによる県警察本部への陳情(令和4年2月2日)

歴代の市長・市議会・県議会議員・市民でつないだバトン。
粘り強い陳情活動の成果!

警察署の新設へ大きく前進

30年以上にわたる市民の悲願

令和4年8月29日、大村秀章愛知県知事が記者会見で、「大府市内への警察署の新設に向けた検討を開始する」と発表しました。市は、市の最優先課題として、隣接する東浦町と共に、昭和63年から実に34年もの間、両市町を管轄する警察署の誘致活動に取り組んできました。

危機管理課 ☎(45)6320



▲警察署の建設予定地(月見町二丁目地内)



誘致の背景



周辺地域の多くが1署につき1市を管轄している中、東海警察署(大府市管轄)および半田警察署(東浦町管轄)は、複数市町を管轄し、管内の人口は両署ともに20万人を超えていました。

大府市と東浦町の人口は増加傾向にありながら、両市町は警察署から離れているため、住民の不安は募り、警察署の設置や交番の増設、警察官の増員を求める声が高まっていました。

令和2年度市民意識調査では、防犯対策に「力を入れてほしい」「できれば力を入れてほしい」と答えた人の割合が73.9%ありました。



警察署新設の意義



警察署を新設し、警察力を増強することにより、犯罪抑止力が高まり、事件発生の際においても早期対応および解決を図ることができます。

さらに、市民の「体感治安」が向上し、安心して安全に暮らせる地域社会を実現することができます。



▲国道155号から見た建設予定地(令和4年9月8日撮影)



メリット

- 現状(東海警察署)と比較して、通報後のパトカーなどの到着時間が短縮されます。
- 警察官が通勤でJR大府駅を利用することにより、駅周辺の監視力が高まります。



大府警察署(仮称)建設推進チーム

大府警察署の誘致を確実なものとするため、上下水道の排水路や接続する道路などの対応を検討し、建設を推進するためのチームを立ち上げました。今後生じるさまざまな課題に対し、チームで対応し、県に全面的に協力していきます。



